

伊豆大島における二次災害防止の取り組み状況

TEC-FORCE 砂防班を派遣

- 災害発生直後の16日から本省より地震・火山砂防室長、20日から砂防施設評価分析官を派遣
- 16日から関東、北陸、中部、九州の各地方整備局、国総研等の職員を順次派遣、総勢10班約40名体制で活動（24日現在TEC-FORCE全体では67名）

TEC-FORCE 砂防班の活動内容

○土砂災害危険箇所緊急点検

- ・危険度が高いと想定される5溪流について、先行的に点検し19日からの避難勧告の対象地区に反映
- ・土石流危険溪流40溪流、急傾斜地崩壊危険箇所31箇所の緊急点検を実施
- ・点検結果については、逐次関係機関に情報提供し、23日に記者発表

○土石流監視体制

- ・監視カメラを設置し、通信衛星を用い、大島町、東京都、内閣府に18日より順次映像配信
- ・さらに台風第27号接近に備えて土石流監視カメラを、元町地区及び泉津地区に5台設置済み（24日）

○技術的支援

- ・二次災害防止、警戒避難体制、応急工事等について都・町等へ助言を実施

